

令和4年度 第9回青森市子ども会議

1 日 時 令和4年8月27日(土) 13時00分～17時00分

2 場 所 青森市役所 議会棟 第1・第2委員会室

3 出席者 【青森市】子ども会議委員8名、事務局2名

【Y T K】子ども10名、事務局3名

4 活動内容 ・YTK×青森市子ども会議オンライン交流会

(1) 自己紹介

(2) YTKの発表 → 意見交換

(3) 青森市の発表 → 意見交換

(4) 感想発表

・オンライン交流会を終えて



5 開催概要

今年度計画していたオンライン交流会の1回目です。神奈川県川崎市で活動するYTK(横丁楽しくしよう会)は、昨年青森市子ども会議も参加した「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」の参加団体の中で、一番気になる活動をしていた団体です。今日のオンライン交流会で、詳しく活動内容などを聞き取り、お互いに新しい活動へのヒントを得たいと思います。

自己紹介

交流会は青森市子ども会議の高校生委員の司会でスタートしました。自己紹介では、それぞれ学年と名前のほかに自由にコメントをしました。YTKも青森市子ども会議も、「交流会を楽しみにしていました」という人が多かったです。

次に、スクリーンショットによる記念撮影を行いました。YTKは会場に大勢が集まって参加していたので、団体の雰囲気がよく分かりました。



YTKの発表

<YTK（横丁を楽しくしよう会）について>

YTK(横丁を楽しくしよう会)は、子どもたちの「こどもゆめ横丁をもっと盛り上げたい」の声をきっかけに始まりました。月に数回会議をし、PR用のチラシをつくったり、説明会を開催し、スタッフと一緒に横丁のPRをしたりするなど、たくさんの活動をしています。

今年度は新しく、「映える」インスタ投稿や、横丁のイメージキャラクターを作ろうという話が出ています。

<こどもゆめ横丁とは>

子どもたちが自分たちの力だけでお店を開く、子どもたちが主役のイベントです。どんなお店にするか、どんな商品売るか、値段はどうするかなども自分たちで考えます。

横丁では本物のお金で商売をします。商品は、ゲームやマッサージ、食品など、自分たちで考えて準備します。いろんなお店を出すことができ、お店も廃材を使って自分たちでつくります。

<こどもゆめ横丁までの流れ>

お店を出す前に、まず9月の子ども説明会に参加します。大人への説明会もあります。10月には横丁にお店を出す人が全員集まって、今年のテーマや横丁で売ることができる商品の値段の条件、横丁税率などについて会議をします。

お店をつくる期間は2週間で、子どもたちだけの手で作るので、11月の本番に間に合うようにみんながんばってつくります。本番の前日には、「みんなで横丁をがんばろう」と気持ちを1つにする会を開き、本番を迎えます。

当日は午前11時から午後3時まで開催します。お店の準備をして、本番を迎え、横丁が終わったらお店をみんなで解体します。解体はお父さんたちも手伝ってくれます。最後にはお疲れ様会をして、良かったことや来年どんなことをやりたいかを話し合います。

<横丁税について>

こどもゆめ横丁では、「遊具をつくりたい」、「お花を育てたい」など、夢パークの中でやりたいことを実現するため、「横丁税」として、みんなが出したお店の利益の10%を集めています。横丁税の使い道は、お店を出した子どもたち全員で話し合って決めます。過去には、夢パークの遊具やアスレチックをつくるための材料を買ったり、バナナの木を植えたりしました。



質疑応答

発表を聞いて気になったことについて質問をし、YTK の活動をさらに詳しく教えてもらいました。

○こどもゆめ横丁について

- ・販売する商品の値段は食品だと200円以内で、食品以外だと150円以下くらいで設定する。
- ・YTK 以外に市内外のお母さんたちが関わってくれていて、当日は1,200人以上が来場する。
- ・食品は自分たちで作れるものであれば何でも良いが、食品衛生の問題でなま物は売れない。
- ・これまでにラーメン、ワッフルのほか、ホットドックを売ったことがある。食品以外では、的あて、木で作った剣のほか、スライムなどをつくれるお店を出したこともあるが、やっぱり食品のお店が人気。

○横丁で大変だったこと

- ・決めたはずの内容と違うなど、メンバーとよくケンカした。メンバーを集めることも大変。
- ・過去には台風が来て、お店がずぶ濡れになったことがあった。傘をさしてお店を開いたり、ビニールで雨よけを作ったりしてがんばった。そんな中でも来場者は多かった。
- ・コロナ対策で、“OKシール”をもらえないとお店を出せないルールができ、これをもらうこと。自分は本番開始時間のギリギリになってようやくもらうことができた。

青森市の発表

発表原稿を当日ギリギリまで作っていて、リハーサルが1、2回しかできませんでした。YTK の子どもたちは、そもそも青森市について知らないかもしれないと考えて、今回の発表内容には青森市の紹介も取り入れました。

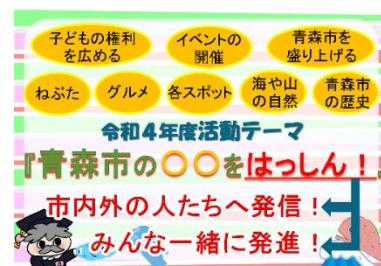
<青森市について>

青森市は、青森県のほぼ中央に位置し、日本三大火祭りである青森ねぶた祭りで有名です。昨年世界文化遺産に登録された三内丸山遺跡もあり、八甲田山や陸奥湾などの自然も豊富で、りんごやカシス、ホタテなどもおいしいです。



<青森市子ども会議の活動について>

「青森市の〇〇をはっしん！」をテーマに、2つのグループに分かれて活動を進めています。この「はっしん！」には、情報の「発信」と新しい一歩を踏み出す「発進」の2つの意味があり、情報を発信する PCAPCA (パカパカ) グループでは、Instagram を活用し、青森市の魅力子ども目線から「発信」しています。一歩を踏み出す「発進」をテーマに活動する Event Enjoy (EE) チームでは、自分たちでイベントを企画し、青森市の“じゃわめぎ”を創出したいと考えています。現在は、10月のスポーツイベント開催に向けて活動中です。



質疑応答

次に、YTK から青森市に質問をもらい、それに対して回答しました。

○青森市のおすすめについて

- ・温泉とか歴史とか食べ物とかたくさんあるけど、温泉だと浅虫にある温泉街がおすすめ。源泉かけ流しの旅館や浅虫温泉駅前には誰でも自由に入れる足湯がある。
- ・魚もおいしいけど、日本一ということもあってホタテがおすすめ。
- ・フルーツではりんご、カシス、ブラックベリーが生産量日本一でおすすめ。

○子ども会議について

- ・青森市子ども会議の活動は、以前は話し合いが多かったけれど、昨年度から Instagram の投稿をはじめたので、現地に足を運んで調べたりすることが増えた。子ども会議は月に2回くらい開催し、みんなで話し合いをしている。

感想発表

〈YTK の感想〉

- ・青森市と川崎市は離れているけど、オンラインでいろんな話ができ良かった。コロナもあって難しいとは思うけれど、11月に横丁に来てほしい。
- ・青森市に行く予定があるので、教えてもらったおすすめスポットにも行ってみたい。

〈青森市の感想〉

- ・こどもゆめ横丁では、“本気のごっこ遊び”として、実際に自分たちでお店を出して、お金を動かしているのがすごいと思う。YTK の活動について知ることができてよかった。
- ・YTK の活動の中でも、苦労や大変なことがあると思うけれど、一緒にがんばっていききたい。
- ・活動ひとつをとってみても、いろんなことが違うと分かり、その違いが楽しいと感じた。

オンライン交流会を終えて

交流会終了後、子ども会議委員で感想を話し合いました。一番は、やはり YTK と青森市の活動内容の違いが話題になり、YTK のように参加者が楽しみながら、自分たちの手で大きなイベントを開いてみたいという声も上がりました。

また、実際のお金を使っていることもあり、みんなが真剣に取り組んでいて、さらにその利益を新たな活動資金にしていることもすごいと思いました。青森市でも、同じような活動ができないか考えていきたいと思いました。